東京文化会館は休館中も都内各地で公演を開催します！

IRCAM Centre Pompidou

野平一郎プロデュース フェスティヴァル ランタンポレル Festival de l'Intemporel ～時代を超える音楽～

舞台芸術創造事業 IRCAMシネマ

Out of the Inkwell

played by イサオ・ナカムラ

『インク壺の外へ』

～現代音楽と無声映画のコラボレーション～

IRCAM Cinema "Out of the Inkwell" played by Isao NAKAMURA—The Collaboration of Contemporary Music and Silent Films

Performing Arts Creation Project

作　曲

アンヌ・カステックス（「Bubbles」）
イ・ジヨン（「Invisible Ink」）
マリオ・モヤ・サンチェス（「Trip to Mars」）
クロート・カート・ケス、ナタリア・ラガンス、
ヤン・シュテヴリアク（『The Cook』）
※2024年パリ初演作品

Music

Anne CASTEX (*Bubbles*)
Jiyoung LEE (*Invisible Ink*)
Mario MOYA SÁNCHEZ (*Trip to Mars*)
Krõõt-Kärt KAEV, Natalia LAGUENS,
Ján ŠTEVULIAK (*The Cook*)
* Premiered in 2024 in Paris

出　演

パーカッション：イサオ・ナカムラ
IRCAMエレクトロニクス：セルジュ・ルムトン
IRCAMサウンド・ディフュージョン：シルヴァン・カダー

Artists

Percussion: Isao NAKAMURA
IRCAM Electronics: Serge LEMOUTON
IRCAM Sound Diffusion: Sylvain CADARS

上映映画

『Out of the Inkwell』より「Bubbles」、
「Invisible Ink」、「Trip to Mars」
監督：マックス・フライシャー、デイヴ・フライシャー
『The Cook』
監督・出演：ロスコー・アーバックル
出演：バスター・キートン

Films featured

Out of the Inkwell: Bubbles, Invisible Ink, Trip to Mars
Directed by: Max FLEISCHER, Dave FLEISCHER
The Cook
Directed by: Roscoe ARBUCKLE
[ft Buster KEATON]

Produced by IRCAM-Centre Pompidou, in partnership with BL!NDMAN.
With the support of La Maison de la Musique Contemporaine,
the Sacem and the ULYSSES Platform, co-funded by the European Union.
As part of IRCAM's ManiFeste-2024 Festival Academy,
and the project Parliament of Angels, founded by BL!NDMAN.
Acknowledgements to FPA CLASSICS - (Lobster Films Collection)
and special thanks to Serge Bromberg.

公演詳細はこちら

©池上直哉

2027年（令和9年）2.24（水）19:00開演（18:30開場）
〈上演時間約60分〉
※プロデューサー等のトークを含みます。
Wed, Feb 24, 2027 19:00 (Open 18:30) Approximate running time: 60 minutes

浜離宮朝日ホール 音楽ホール
Hamarikyu Asahi Hall

主催：東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
後援：チェコセンター東京／アンスティチュ・フランセ
協力：l'intemporel（ランタンポレル）／株式会社ヤマハミュージックジャパン
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業））
独立行政法人日本芸術文化振興会
笹川日仏財団
東京文化会館オフィシャル・プラチナパートナー：上野精養軒 長谷工グループ
東京文化会館オフィシャル・ゴールドパートナー：朝日信用金庫　株式会社リブラン　企画制作：東京文化会館 事業係　@tbunka_official

東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan
65th Anniversary

舞台芸術創造事業　IRCAMシネマ

『インク壺の外へ』

played by イサオ・ナカムラ

～現代音楽と無声映画のコラボレーション～

IRCAM Cinema "Out of the Inkwell" played by Isao NAKAMURA—The Collaboration of Contemporary Music and Silent Films

ウォルト・ディズニーと人気を二分し、ベティ・ブープやポパイの映画で知られる**フライシャー兄弟**の名作『インク壺の外へ』シリーズ。**チャップリン**に並ぶ喜劇王 **バスター・キートン**の出演作『The Cook』。今回はこの2作品から4本を取り上げ、ジョン・ケージをはじめ数々の有名作曲家の初演を手掛けてきた世界的打楽器奏者イサオ・ナカムラが演奏します。

現代音楽vsスラップスティックという冒険

今回のIRCAMシネマは、アメリカのアニメーション映画史に輝くフライシャー兄弟の短篇3作品に、巨体ながら機敏な動きで人気を博したロスコー・アーバックル主演・監督の喜劇を加えた粋なプログラムだ。フライシャー兄弟の『インク壺の外へ』シリーズは道化師のココというキャラクターを主人公とし、実写で現れる兄弟の兄マックスの手で紙に描かれることで出現する。インクの線の集まりが生き物として動くというイリュージョン、それは「アニメート＝動きを与える」という言葉の定義にも触れる実験精神の発露だろう。またアーバックルの『コック』は真のスラップスティック・コメディだ。得意の食べ物ギャグが随所に盛り込まれ、ソーセージや鍋、フライパンを身につけて『サロメ』の如き踊りも見せるが、そんなストーリーの希薄ささえスラップスティックの魅力だろう。現代音楽からの挑戦を映画がいかに受けて立つか注目である。

――― 岡田秀則　国立映画アーカイブ主任研究員

イサオ・ナカムラの魅力

最初にナカムラさんの演奏を聴いたのは、まだ1990年代、秋吉台のフェスティヴァルでだった。何て魅力的に楽器を叩くのだろう、何て楽しげに演奏するのだろう、と思った。曲は確か彼が初演したペーター・エトヴェシュの「サンダー」だから、決して内容が楽しいというわけではなかったのに。それを聴きながら、昔武満徹が「リング」をリハーサルする指揮者の小澤征爾を、こんなに楽しげに僕の作品を振った指揮者は見たことがなかったと評したのを思い出していた。

正確無比で素晴らしく音楽的な「打」は、一方であらゆる彼の魅力的な身体の動きと結びついている。ぜひ聴いてほしい、そしてぜひ、見てほしいのだ。そうすれば、すぐにナカムラさんの魅力に金縛りに遭ってしまうこと間違いない。

――― 野平一郎

イサオ・ナカムラ（パーカッション） Isao NAKAMURA, Percussion



大阪生まれ。世界中の作曲家から献呈され、ソロ曲や打楽器協奏曲を世界初演。メシアン、ノーノ、シュトックハウゼン、ケージ、カーゲル、エトヴェシュ、細川等、ベルリン、ザルツブルグ、パリ、ウィーン、ミラノ、ブダペスト等の音楽祭で共演。ソリストとしてケルン、バイエルン、ザールランド各放送響、ブランデンブルグフィル、ボッフム響、RAIイタリア放送響、ボルドーオペラ管、インスブルック・チロル響、コンチェルトブダペスト響、都響、大フィル、東フィル等と共演。クラーニッヒシュタイナー音楽賞、青山音楽賞特別賞、佐治敬三賞、京都府文化賞功労賞受賞。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学終身教授。京都市立芸術大学客員教授。YAMAHA アーティスト。

〈料金〉

指定3,300円　25歳以下1,100円

フェスティヴァル・ランタンポレル セット券：一般17,325円　25歳以下4,620円

お得です!

※フェスティヴァル・ランタンポレルの7公演全てにご入場いただけます。

〈発売日〉

10月24日（土）

フェスティヴァル・ランタンポレル セット券：10月10日（土）

TICKETS

Reserved Seats 3,300yen Under-26s 1,100yen

Festival de l'Intemporel Package: Regular 17,325yen Under-26s 4,620yen

* This package includes adomisson for all 7events.

On sale date

Sat, Oct 24

Festival de l'Intemporel Package: Sat, Oct 10

〈お申込み〉 BOX Office

○東京文化会館チケットサービス　03-5962-1788（10:00～18:00）　t-bunka.jp

Tokyo Bunka Kaikan Box Office (Available in English)

※電話受付休業日：土日祝、年末年始等。主催公演の前日及び当日、発売日を除く。

○東京芸術劇場ボックスオフィス　0570-010-296（休館日を除く10:00～19:00）　geigeki.jp/t/

※発売日は電話・webのみ。窓口販売は10月25日（日）開始。

○朝日ホール・チケットセンター　03-3267-9990（電話のみ。日・祝日を除く10:00～18:00）

※25歳以下席の取扱いはございません。

○チケットぴあ　t.pia.jp　○イープラス　eplus.jp/t-bunka/

※セット券は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。

※25歳以下席をご購入の方は、公演当日に年齢が確認できるものをお持ちください。確認する場合がございます。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービス（要予約・有料・定員あり・2月17日（水）17時締切）があります。イベント託児・マザーズ：0120-788-222

※当日券を販売する場合は、キャッシュレス決済または現金（釣銭なし）での取扱いのみとなります。

野平一郎プロデュース　フェスティヴァル・ランタンポレル Festival de l'Intemporel ～時代を超える音楽～について

東京文化会館は2024年度、当館音楽監督・野平一郎（作曲家・ピアニスト）プロデュースのもと、現代と古典の音楽がクロスオーバーする新しいプロジェクト「フェスティヴァル・ランタンポレル」を立ち上げました。3年目となる2026年度は、IRCAM（フランス国立音響音楽研究所）と共同で邦人若手作曲家に委嘱を行う「音楽クリエイター育成プロジェクトTokyo＆Paris to the NEXT」の初演コンサートを含め2027年2月24日（水）～3月1日（月）に開催します。さらに今年はオンドレイ・アダメク&ドヴォルザーク、レベッカ・サンダース&ラヴェルをテーマに、コンサートやマスタークラス、トークセッション、そして現代音楽と無声映画のコラボレーションなど、時代を超えた多彩なプログラムを展開します。存分にお楽しみください。

詳細はこちら

IRCAM（イルカム／フランス国立音響音楽研究所）とは

パリにある総合文化施設、ポンピドゥー・センターの関連組織として1977年に設立された、音楽表現と科学研究に特化した世界最大級の公的研究機関である。当時の仏大統領ジョルジュ・ポンピドゥーに招かれたピエール・ブーレーズによって創設された。その活動は、音響技術・情報処理に関わる研究や、テクノロジーを活用した音楽・映像制作、またアーティストによる創作活動の教育・支援、発表機会の提供など多岐にわたっている。

IRCAM Centre Pompidou

アクセス　ACCESS

●都営地下鉄大江戸線・築地市場駅 A2出口すぐ

